

平成30年度決算について

学校法人駒澤大学の平成30年度決算は、監事および公認会計士の監査を経て、令和元年5月30日の理事会・評議員会において承認されました。

①資金収支について

【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は240億6,078万円となりました。主な項目は学生生徒等納付金収入158億4,513万円。入学検定料などの手数料収入12億4,712万円。教育後援会・同窓会等の後援団体、KUサポート等からの寄付金収入2億1,431万円。国や地方公共団体からの補助金収入16億4,642万円。私学退職金財団等交付金などの雑収入7億8,688万円。授業料・入学金等の前受金収入61億2,172万円。各種引当特定資産取崩等のその他の収入58億1,882万円。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計は、388億9,343万円となりました。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金を除いた当年度支出は260億247万円となりました。主な項目は人件費支出105億8,139万円。教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出46億6,691万円。教育・研究を間接的に支援する管理経費支出8億9,279万円。日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等への借入金等返済支出10億8,769万円。駒澤大学附属苫小牧高等学校生徒寮建設工事、駒澤大学祖師谷寮・野球場再整備工事、駒澤大学開校130周年記念棟（低層棟）建設工事等の施設関係支出20億6,065万円。駒澤大学図書館システム、1号館PC教場システムなどの各種システムの更新など教育研究等に要する機器備品や図書などの設備関係支出4億634万円。各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出63億3,447万円。これらに資金支出調整勘定、翌年度繰越支払資金等を加えた支出の部合計は、388億9,343万円となりました。

②活動区分資金収支について

【教育活動による資金収支】

教育活動による資金収支は、キャッシュベースでの本業の教育研究活動の収支状況を表しています。学生生徒等納付金収入、手数料収入のほか、施設設備整備以外の特別寄付金収入や経常費等補助金収入などの教育活動資金収入計200億3,784万円から人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などの教育活動資金支出計161億4,037万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等9億8,218万円を引いた教育活動資金収支差額は、29億1,527万円のプラスとなりました。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動による資金収支は、施設設備の取得・売却等の活動に関する収支状況を表しています。施設設備補助金や施設設備寄付金、駒澤大学新図書館棟（仮称）建設事業に充当する第2号基本金引当特定資産に繰入れるための、減価償却引当特定資産取崩収入などの施設整備等活動資金収入計33億1,754万円から施設関係支出、設備関係支出、駒澤大学新図書館棟（仮称）建設事業に充当する第2号基本金引当特定資産繰入支出などの施設整備等活動資金支出計71億6,700万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金さ

れる調整勘定等 6,460 万円を引いた施設整備等活動資金収支差額は、39億 1,406 万円のマイナスとなりました。

【その他の活動による資金収支】

その他の活動による資金収支は、借入金の収支、資金運用の状況等の財務活動、預り金等の受け払い等の経過的な活動に関する収支状況を表しています。借入金等収入、受取利息・配当金収入、退職給与引当特定資産等の有価証券償還に伴う取崩収入などその他の活動資金収入計18億 2,517 万円から借入金等返済支出、預り金支払支出、退職給与引当金等の再組入・積み増しによる繰入支出などその他の活動資金支出27億 7,196 万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等 388 万円を加えたその他の活動資金収支差額は、9 億 4,290 万円のマイナスとなりました。

教育活動による資金収支差額、施設整備等活動による資金収支差額、その他の活動による資金収支差額の収支差額を合計した結果、支払資金は前年度より19億 4,168 万円減少し、翌年度繰越支払資金は 128 億 9,096 万円となりました。

③事業活動収支について

【経常収支】

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの教育活動収入計 200 億 4,671 万円から人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計 179 億 8,926 万円を差し引いた教育活動収支差額は 20 億 5,745 万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち 19 億 9,229 万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。受取利息・配当金等による教育活動外収入計 7,703 万円から借入金等利息等による教育活動外支出計 5,013 万円を差し引いた教育活動外収支差額は 2,689 万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計で、20 億 8,434 万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時的な収入・支出です。有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計 3 億 7,874 万円から資産処分差額などの特別支出計 49 億 1,414 万円を差し引いた特別収支差額は 45 億 3,539 万円の支出超過となりました。なお、この支出のうち、46 億 7,247 万円は苫小牧駒澤大学の設置者変更に伴う資産処分差額によるものです。

【収支差額】

経常収支差額と特別収支差額の合計額である基本金組入前当年度収支差額は 24 億 5,104 万円の支出超過となり、ここから基本金組入額 32 億 7,449 万円を差し引くと、平成 30 年度の当年度収支差額は 57 億 2,553 万円の支出超過となりました。

苫小牧駒澤大学の設置者変更に伴う基本金 84 億 8,708 万円を取崩した後の翌年度繰越

収支差額は165億6,928万円の支出超過となりました。

なお、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の事業活動収入の部を合計した事業活動収入計は205億249万円、事業活動支出の部を合計した事業活動支出計は229億5,353万円となりました。

④貸借対照表について

【資産の部】

有形固定資産は、駒澤大学附属苫小牧高等学校生徒寮、駒澤大学祖師谷屋内練習場建設等により増えたものの、苫小牧駒澤大学保有資産の移管等により44億2,594万円減少しました。特定資産は、建設準備引当特定資産が繰り入れにより増加したことなどにより16億1,852万円増加しました。その他の固定資産は、有価証券の購入等により1億6,723万円増加しました。流動資産は、現金預金、私学退職金財団等交付金の未収入金等の減少により22億8,787万円減少しました。その結果、前年度より49億2,805万円減少し、資産総額は942億6,206万円となりました。

【負債の部】

固定負債は、借入金を約定どおり返済した長期借入金や退職給与引当金等が減少し4億1,163万円減少しました。流動負債は、短期借入金、前受金等の減少により20億6,537万円減少しました。その結果、前年度より24億7,700万円減少し、負債総額は200億5,242万円となりました。

【純資産の部】

基本金総額は前年度より52億1,259万円減少し、907億7,892万円となりました。翌年度繰越収支差額は、当年度収支差額が57億2,553万円の支出超過となったものの、一方で苫小牧駒澤大学の設置者変更に伴う基本金84億8,708万円を取崩したため、165億6,928万円の支出超過となりました。その結果、純資産は前年度より24億5,104万円減少し、742億963万円となりました。